

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	国民年金啓発事業	所管	市民経済部 国保年金課
			Tel 2998-9131

事業の目的 (何の為に 行うか)	被保険者への国民年金制度の周知を目的とする。
------------------------	------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	主として、厚生年金・共済組合加入者以外の20歳以上60歳未満の所沢市民、及び任意加入者	対象とした数	238,926	人
		実際に 利用した数	55,915	人

活動の内容	(何を したか)	①毎月、広報に国民年金情報を掲載する。 ②年金担当窓口や出張所に啓発冊子を備え、希望者に配布する。 ③社会保険労務士を講師に招き、市内の公共施設等を利用してセミナーを開催する。 ④ダイヤ改正時に合わせ、市内主要駅に年金情報を掲載したポケット型時刻表を配布する。 ⑤所沢駅西口のフルカラービジョンで国民年金情報を毎日放映する。								
		活動実績	項目名	セミナー開催	4	項目名	啓発冊子	9000	項目名	年金情報放映
				-----			-----			-----
				単位 回			単位 部			単位 回

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,483	987	10,851	32.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	啓発物配布部数	啓発冊子配布部数 ポケット型時刻表発行部数	ポ	100000	87000
			-----	-----	-----
			単位 部	単位 部	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当部課コード	030700	TEL	2998-9131
事業コード	国民年金啓発事業	市民経済部	国保年金課		
030708		グループ	国民年金グループ		
開始年度	昭和 61 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input type="checkbox"/> 自治事務	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	国民年金法			
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	5節 社会保障
		中柱	3 国民年金制度の推進	小柱	*****
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 3 位		・実施計画における位置づけ…H19 ○ H20 ○		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	1111	市民の知りたい情報の提供	コード	
	事業開始の背景	国民年金は、老後の所得保障の中核を担うものである。そこで、より積極的に制度の周知を図っていく必要があるため。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	被保険者への国民年金制度の周知を目的とする。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方		国民年金第1号被保険者		
	主として、厚生年金・共済組合加入者以外の20歳以上60歳未満の所沢市民、及び任意加入者	対象数	単位	平成 18 年度	239,850	人
				平成 19 年度	238,926	人
		利用数	単位	平成 18 年度	57,703	人
			平成 19 年度	55,915	人	
	事業の具体的な内容及び実施方法	①毎月、広報に国民年金情報を掲載する。 ②年金担当窓口や出張所に啓発冊子を備え、希望者に配布する。 ③社会保険労務士を講師に招き、市内の公共施設等を利用してセミナーを開催する。 ④ダイヤ改正時に合わせ、市内主要駅に年金情報を掲載したポケット型時刻表を配布する。 ⑤所沢駅西口のフルカラービジョンで国民年金情報を毎日放映する。				

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	<< 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点	啓発冊子の内容を平成19年度版として改訂した。また、セミナーの開催時期など市民の要望を取り入れた。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		2,022	1,483	2,139
	決算(見込み含む)		1,868	987	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(0.10 人)	
	正規職員人件費	1.16 人	10,672	1.05 人	9,864
	公債費				
	事業費合計		12,540	10,851	
	財源内訳	一般財源	4,966	3,038	2,139
		国・県支出金	7,574	7,813	
		受益者負担金			
市債					
その他					
市民一人当たり(単位:円)		37.1	32.0		
利用数一単位あたり(単位:円)		217.3	194.1		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	セミナー開催	開催回数	回	4	4	
		啓発冊子	発行部数	部	7200	9000	
		年金情報放映	放映回数	回	23360	23360	
	成果分析	啓発物配布部数	啓発冊子配布部数 ポケット型時刻表発行部数	部	目標値 100000	100000	100000
			%	実績 87000	87000		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
			%	達成率 87.0	87.0		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	現在の実施主体	
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益者負担の関係	
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	国民年金の20歳到達者や新規加入者に対して、社会保険事務所と連携・協力しながらわかりやすく制度の説明をしていく必要がある。			
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	国民年金第1号被保険者のうち、20歳到達者や新規加入者に対しては、丁寧に、わかりやすく制度の説明をする。	啓発冊子やポケット型時刻表等を配布し、年金情報・制度の周知を図る。	平成22年3月
	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	国民年金は、市民一人一人の届出、申請、請求により終身にわたって長期の老後生活を経済面で保障することができる。しかしながら、現状においては必ずしも制度が行きわたっているとはいえない。今後とも、年金啓発冊子の配布などにより制度の周知を図る。		
	評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名 国民年金担当主幹 新井芳明	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	評価理由	
	評価日	
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位 非常に高い 高い やや低い 低い
	見込まれる貢献度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由	

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード
	基本目標		
	主要課題		
	施策の方向		